

Sustainability Action

2023年6月

SEIBU SOGO

【商事事業本部】

豊島区との連携でフードロス対策を実施 商事事業の在庫を子育て支援等に活用

商事事業本部は、豊島区が推進する子育て支援や地域活性といったSDGs推進活動の理念に賛同し、フードロス対策となる2つの取り組みを実施しました。

6月16日(金)には、商事事業本部が手掛ける企業・団体さま向けビジネスの加工食品在庫のうち、賞味期限残が短くなったパックご飯やレトルトカレーなど37,500点を豊島区に寄付。寄付品は豊島区長名で区内のこども食堂や高齢者施設等に寄付される予定です。また事前の6月10日(土)には、豊島区がIKE SUNPARK(豊島区防災公園)で定期開催する「ファーマーズマーケット」に出店し、同じく賞味期限残が短くなった食品在庫の一部を特別価格で販売しました。そごう・西武は、今後もこのような連携を通じて、本店所在地である豊島区の実現に資する形でさまざまな取り組みを進めてまいります。



豊島区高野区長とそごう・西武林社長による贈呈式



寄付した食品



ファーマーズマーケットでは商事事業本部の従業員が販売



販売会場では盲導犬募金箱も設置

この取り組みにより、国連で定めたSDGsの目標1・12の達成に貢献します。

